

# 分科会 16

## これからの働き方を語ろう

働く人のミーティング CAT 実行委員

荒木翔、伊藤友里、加藤龍、亀井美紗子、下斗米真実（NPO 法人 NECST 職員）

本分科会は、千葉縣市川市で月に一度、主に精神障害のある働く人が集まって、様々なテーマで話し合う団体の「働く人のミーティングCAT」が企画・運営をさせていただきました。

今回は、「これからの働き方を語ろう」というテーマに沿って、CATメンバーからの体験発表を行い、グループに分かれ4つのテーマに沿って意見交換を行いました。

4つのテーマは下記の通りです。

- ① 「働けない／働き続けられない」と感じる時
- ② 働いていて「良かった」「良くやった」と感じる時
- ③ 安心して働ける職場環境とは？ 自分に出来ることとは？
- ④ これからどういう「働き方」をしたいと思いますか？

働いている方や就職活動中の方、支援者といった様々な立場の方が、各々の貴重な経験を率直に話していただき、「環境は違うが根幹にあるものは一緒だった」「就職するぞ！という気持ちになった」「当事者の生の声を聞いて、これからの希望につながった」「障害の有無に関係なく『働くこと』への不安や喜びは同じものだとわかった」といった感想が挙げられました。

「ここまで時間をかけて『働くこと・働き方』について自分と向き合ったことはなかったが、自分を見直す良い機会になった。また、悩んでいるところに光がさした」という感想もありました。

働きたい気持ちがあってもなかなか仕事が決まらない、あるいは仕事があっても働き続けることが大変に感じる時があります。また、やりがいをもって働いていても、ふと迷いを感じる時もあります。様々な状況の中でも自分自身とよく話し合うことは大切なことなのかなと思いました。

大勢の方に参加していただき、皆さん全員の意見を伺うことが出来なかったことが心残りでしたが、様々な“より自分らしく働くヒント”を見つけ出し、共有することができて良かったです。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。